

オタク的日本愛？ ～フランスの児童書に見る日本～

かつて詩人・萩原朔太郎は「ふらんすへ行きたしと思へどもふらんすはあまりに遠し」と歌いました。その頃、フランスは日本人の憧れでした。しかし、日本の漫画やアニメが世界に影響を与えた現在、フランスにも日本への憧れが育っているようです。毎年、7月にパリで開催される、日本のポップ・カルチャーを含む文化をテーマとして開催されるジャパン・エキスポは、フランス・オタクの聖地になっている、日本語の「カワイイ」は、既にフランス語になっているとも言われています。フランスの児童書に描かれた日本は、確かに「カワイイ」ですが、現実とは、多少、違うようです。でも、こんなに「カワイイ」なら、もう、いいでしょうか。

（日本事情紹介～ややちがっているところも・・・）

- 1) *Bienvenue au Japon* (日本によろこそ) / illustrations d'Izumi Idoia Zubia et de Sophie Leblanc. Toulouse Milan c2009. 当館請求記号 (Y2-B738)
現在の日本の事物をテーマ毎に取り上げ写真とともに説明しています。しかし、取り上げられる事物は「妖怪」「舞踏(暗黒舞踏)」「珍道具」「猫」「街のファッション」など、かなりの思い入れがあるものばかりです。ほんとうにカワイイ日本！と読者は思わざるを得ません。
- 2) *Aoki, Hayo et Kenji vivent au Japon* (アオキ、ハヨ、ケンジは日本に住んでいる) / Alexandre Messager ; illustrations, Sophie Duffet. Paris De la Martiniere jeunesse c2006. 当館請求記号 (Y2-B346)
日本に住んでいる三人の子どもが日本を紹介するという形で構成されています。日本人は地図に「氣」と書いてあるのはなぜだろうと思うでしょう。また、登場するタイの坊さんにも、古い相撲の写真にも驚くばかりです。囲炉裏のある旅館も日本にあるようです。泊ってみたいですね。
- 3) *Vivre comme les Japonais* (日本人のように暮らす) / Fiona Macdonald. Paris De la Martiniere jeunesse c2000. 当館請求記号 (Y2-B384)
「日出る国・日本」、その日本の歴史、文化を豊富な写真とともに紹介しています。また、実際に、習字をする、おにぎりをつくる、絵をかいてみるなどを通じて日本文化にさらに親しむことができるように構成されています。もともとは、1999年に出た英語版“Step into -- ancient Japan”のフランス語版ですが、表紙が変えられています。日本はこんな強烈な文化を持っていたのかと、日本人は驚いてしまいます。
- 4) *Je fais du judo* (私は柔道をやっている) / Gerard et Marie-Francoise de La Taille ; illustrations de Corine Deletraz. Toulouse Milan jeunesse c2008. 当館請求記号 (Y12-B63)
フランスの柔道人口は、50万人以上とも言われています。柔道についての本もたくさん出ています。児童向けの柔道案内です。
- 5) *Je fais du karate* (私は空手をやっている) / Raphael Martin et Frederic Piquet ; illustrations de Florence Olle. Toulouse Milan jeunesse c2010. 当館請求記号 (Y12-B64)
同じく空手案内。

（日本民話、神話～新しい発見があるかもしれません）

- 6) *Legendes japonaises : l'eau-la terre-le ciel, le feu* (日本の伝説：水、土、空、火) / recueillies et illustrees par T. Foujita ; preface de Claude Farrere. Paris Editions de l'Abeille d'or du monde c1922. 当館請求記号 (Y17-Y1)
水、土、空、火のジャンル毎に、関連した民話が収められています。水は、「玉取」「道成寺」「浦島」の三話です。藤田嗣治が文と話を書き、ゴンクール賞受賞の人気作家クロード・ファーレルが前書きを書いています。

7) La mythologie japonaise (日本神話) / Claude Helft ; illustrations de Karine Le Pabic. Arles Actes Sud c2003. 当館請求記号 (Y8-B6535)

(出版国 フランス) 表紙は着物を着た男女が鉢のようなものを持った絵です。一見、大正時代の話のように見えますが、これが古事記に出てくる伊耶那岐命と伊耶那美命なのです。大国主命は山のような荷物を運んでいます。古事記の登場人物たちは、いずれも大正時代を思わせる着物姿で活躍します。

8) Issounboshi et autres contes du Japon (一寸法師と日本の他の話) / Pascal Fauliot ; illustrations de Joelle Jolivet. Paris Syros jeunesse c1999. 当館請求記号 (Y8-A4539)

(出版国 フランス) 「一寸法師」「小僧と山姥」「コウロギの歌」が収録されています。一寸法師は瓜から生まれます。読み聞かせ用と思われそうですが、声の大きさを文字の大きさでわかるようにしてあり、擬音(日本の擬音を使用)が赤字で印刷してあります。

9) Contes du Japon (日本の民話) / Mayumi Watanabe ; illustres par Eric Puybaret. [Clichy] Edition du Jasmin c2010. 当館請求記号 (Y9-W324-B65)

「雪女」「笠地蔵」などのほか、日本各地の民話が収録されています。挿絵画家はフランス人で、日本民話になにか異国情緒がただよいます。

10) Contes japonais : l'homme au miroir (日本民話 : 鏡の中の男) / contes choisis et traduits par Masahiro Inoue et Monique Sabbah ; adaptes par Monique Sabbah ; illustrations de Chen Jiang Hong. Paris Ecole des loisirs c2004. 当館請求記号 (Y8-B3572)

「浦島太郎」「鉢かづき」など御伽草子からの翻訳です。挿絵画家は「ウェン王子とトラ」「この世でいちばんすばらしい馬」(いずれも邦訳あり)を描いたチェン・ジャンホンです。

10) Le grand-pere qui faisait fleurir les arbres (木に花を咲かせたお爺さん=花咲爺) / conte de la tradition japonaise ; illustre par Anne Buguet. [Paris] Pere Castor Flammarion c2002. 当館請求記号 (Y17-B12861)

おなじみの花咲爺さんはなんだか現代的な髪形です。おばあさんのガウンも現代風。日本趣味にあふれる挿絵ですが、赤いカキツバタはちょっと困ります。ここでは隣のお爺さんはいなくて、歌舞伎役者風の中年夫婦です。

11) Contes du Japon (日本のお話) / Claude Clement ; [illustrations], Princesse Camcam ; musiques de Vincent Clement. Toulouse Milan jeunesse c2009. 当館請求記号 (YU81-B354)

「鶴の恩返し」「かちかち山」「舌切り雀」「浦島太郎」などが入っています。なんだかヘンだけど、このかわいらしさに完結しているので、まあ、いいかという気持ちになります。

12) Issunboshi : grand comme un pouce : adapte d'un conte japonais : un livre-theatre d'ombres (一寸法師: 親指の大きさの子: 日本の民話から: 影絵劇場の本) / de Nathalie Dieterle. [Paris] Casterman c2008. 当館請求記号 (Y17-B12634)

影絵シリーズで切り抜いて、灯りをつけて楽しむようになっています。おなじみの一寸法師ですが、鬼だけではなくいろいろなものを退治するようです。お姫さまとの出会いもなかなか斬新、また絵も斬新です。大きくなった一寸法師が描かれていないのは残念。

13) Les deux vies de Taro : d'apres un conte populaire du Japon (太郎の二つの人生: 日本の人気のある話に拠る) / texte de Jean-Pierre Kerloc'h ; illustrations d'Elodie Nouhen. Paris Didier jeunesse c2003. 当館請求記号 (Y17FR-N928-B12605)

太郎は亀の命を助け、民話にあるように竜宮城に行って乙姫さまと出会います。楽しい日々ですが、太郎は地上が恋しくなります。それもそのはず、太郎は両親もいれば、「ミカコ」という妻もいたからです。しかし、地上に出てみると、もう三百年経っていました。街には「レストラン」「レコード店」「スーパーマーケット」などが乱立していたのです……。

(日本の出てくるフランス児童書～日本はこんな国だったのですね)

14) Gaspard et Lisa au Japon (日本でのガスパールとリサ) / Anne Gutman ; [illustrations de] Georg Hallensleben. France Hachette jeunesse c2006. 当館請求記号 (Y17-B8511)

「リサとガスパール」シリーズの一冊。二人は「フクシマ」氏の案内で、日本を探求します。ウオッシュレットに驚き、寿司に舌鼓をうち、金閣寺とおぼしき寺を訪ねます。

15) Fleur de Cendre (灰の花) / Annick Combiere, Anne Romby. Toulouse Milan jeunesse c2006.

当館請求記号 (Y17-B12797)

江戸時代に使われた日本文化の方法に「見立て」があります。例えば、「源氏物語」の舞台を江戸時代に変えてみたり、日本庭園の池の中に置かれた岩を島に見立ててみたりします。本書はシンデレラを江戸時代とおぼしき時代に「見立て」たものです。しかし、舞踏会もなければ、ガラスの靴もない江戸時代、作者の苦労がうかがわれます。二人の姉妹は花魁風でそれでは王子の花嫁にはちょっと無理なような気がいたします。しかし、ここまで日本文化の手法を使いこなすとは！ちなみにシンデレラのフランス語の意味は「灰かぶり」です。

16) Basho, le fou de poesie (芭蕉：風狂の人) / Françoise Kerisel, Frédéric Clément Paris A. Michel c2009 当館請求記号 (Y17FR-C626-B12802)

各地を旅して句を作った芭蕉の旅をたどり句とともに紹介しています。この見事に完結した美的世界。ただただ素晴らしいとしか言いようがありません。

17) Le jardin des quatre saisons (四季の庭) / Michelle Nikly. Paris A. Michel jeunesse c2003.

当館請求記号 (Y17-B12803)

「ナツミ」は「ハクラ」夫人の女中です。ある日、二人の子どもが捕まえた蝶の話をしているのを聞いて、「ナツミ」はこっそりその蝶を自由にあげます。その晩、蝶がやってきて「ナツミ」を蝶の王様のところに連れて行ってくれます。王様は「ナツミ」に箱をくれますが、それは季節によって風景が変わる四季の箱でした。

18) Le secret de Kashimo (カシモの秘密) / Agnes de Lestrade, Nicolas Duffaut. Toulouse Milan jeunesse c2010. 当館請求記号 (Y17-B12825)

貧しい農民の息子「カシモ」と、城主・三郎の娘「カマ」は友達です。二人は、夕方、一緒に過ごしては夢を語り合います。しかし、ある日、「カマ」がいなくなってしまう。そこから「カシモ」の冒険が始まります。

19) Isayama (イサヤマ) / texte de Pierre Bottero ; illustrations de Jean-Louis Thouard. Toulouse Milan jeunesse c2007. 当館請求記号 (Y17-B12626)

「イサヤマ」は、そそりたつ険しい山です。多くの男たちが登ろうとして、失敗しました。子どものころから「イサヤマ」を眺めていた「クァイ」は「イサヤマ」に挑戦します。この「イサヤマ」の場所はアジアのようですが、どこかは不明です。「イサヤマ」の名称だけ日本なのでしょうか。

20) Le destin blanc de Miyuki (ミユキの無垢な宿命) / Kochka, Judith Gueyfier. Toulouse Milan jeunesse c2010. 当館請求記号 (Y17FR-G939-B12826)

日本の国の話です。そこでは「タケチ」と「チカオ」の国があり、長年、戦争を続けていました。しかし、記憶を失い「アイコ」と名付けられた「チカオ」の王女「ジン」と、事情を知らない「タケチ」の殿様が結婚して美しい女の子が生まれ、女の子は「ミユキ」と名付けられます。「ミユキ」はある晩、不思議な夢を見て、自らの祖父を探すことにします。

21) The emperor's plum tree (皇帝の梅の木) / by Michelle Nikly ; translated from the French by Elizabeth Shub.. -- Greenwillow Books, 1982. 当館請求記号 (Y19-319)

(出版国 アメリカ) フランス語からの訳で、フランス語の原書は“Le prunier”です。皇帝は美しい庭を持っていましたが、ただひとつ美しい梅の木がないことに気がつき、絵師の「ウキヨ」と妻の「タンカ」のところにある梅の木を宮殿の庭に移します。「ウキヨ」と「タンカ」の息子の「ムスコ」は、梅の木に来ていた鶯はこのあとどうするのか？という歌を梅の木に付けておきました。それを読んだ皇帝は梅の木を「ムスコ」に返します。筋はともかく登場人物の名前がなんともいえません。

22) Ito ou la vengeance du samourai (イトー、もしくは侍の敵討ち) / Evelyne Reberg ; illustrations d'Olivier Tallec. Paris A. Michel jeunesse c2001. 当館請求記号 (Y8-B2678)

祭りの晩、「イトー」は盗賊の「キヨマサ」に両親を殺されてしまいます。叔父の「ケンキチ」などの親族の前で「イトー」は仇討ちを誓い、偉大なるサムライになるため修行に出ます。

23) Ce qui arriva a monsieur et madame Kintaro : un conte du Japon (到着したのは金太郎夫妻だった : 日本の話) / raconte Muriel Bloch ; illustre par Aurelia Fronty. [Paris] Gallimard jeunesse musique c2005. 当館請求記号 (YU81-B218)

金太郎夫妻は大阪でスリをして暮らしていました。今度、大阪に警察長官「オオオカ」氏が赴任してくることになり、許可を得てスリを続けるか、大阪を去るかの決断を迫られます。結局、金太郎夫妻は大阪を去って海辺の村で生活することを選びます。夫妻のもとに見知らぬ客が訪ねてきて一緒に食事などをします。付録として、箏曲「八段」「黎明」などを収録した CD が付いています。

24) La lumiere du Mont Fuji (富士山の光) / texte et illustrations de Michelle Nikly. -- A. Michel jeunesse, c1994.. -- (Contes d'hier et d'aujourd'hui) 当館請求記号 (Y17-A2786)

画家の「タイト」は、今までの自ら芸術を捨て、さらに高次の芸術をめざして、「ソジ」とともに旅に出ます。

(フランスで出版された日本の挿絵画家の本～日本で出版されていない本もあります)

25) Ma chevre Karam-Karam (僕の山羊・カラムカラム) / Satomi Ichikawa. Paris L'Ecole des loisirs 2005. 当館請求記号 (Y18FR-I89-B488)

二人の少年・コンタとサンバはそれぞれ市場に魚と山羊を売りに行きます。ところがサンバの山羊は売られるのを嫌がって逃げ出します。

26) Au village des peres noel (サンタの村で) / illustrations de Ken Kuroi ; texte de Junko Kanoh ; traduction de Takako Hassegawa. [S.l.] Magnard jeunesse c1991. 当館請求記号 (Y19FR-K96-A6)

サンタクロースたちは集団で村に住んでいます。12月にプレゼントを配るために、まずプレゼントを作ったり、宅配のための体力をつけたり、トナカイに負担をかけないように体重を測ったりするサンタクロースたちの一年が描かれます。原書は『あのね、サンタの国ではね…』(当館請求記号 Y18-5264)

27) Le magicien des etoiles : et autres contes(星の魔術師、ほか) / une selection de contes ecrits par Christine Hanon ... [et al.] ; illustres par Yasuyuki Hamamoto. [Paris] Bayard jeunesse c2008 当館請求記号 (Y18FR-H198-B658)

挿絵画家 Yasuyuki Hamamoto 氏には日本で出版された本はありません。pp.38-61「桃太郎」が収録されていますが、おじいさんは「ヒト」、おばあさんは「ヒミコ」となっています。バイキング風の鬼がなんともいえません。

28) Bonne nuit Nora ! (おやすみなさい、ノーラ) / une histoire de Brigitte Weninger ; illustree par Yusuke Yonezu ; et traduite par Yseult Lecuyer. [Paris?] Minedition c2007. 当館請求記号 (Y18FR-Y55-B338)

日本在住ですが、主に海外で本を出版している挿絵画家です。

29) La nuit de l'etoile filante (ほしのひかったよる) / illustrations de Shomei Yoh ; texte francais de Dominique Barrios-Delgado. Paris Editions du Cerf c1992. 当館請求記号 (Y19-Y54-A52)

星に導かれた男の子が生まれたばかりのイエス様に出会うお話です。原書は『ほしのひかったよる』(当館請求記号 Y18-6333)

(日本漫画紹介、研究書)

30) Escal Japon : litteratures japonaises, manga, cinema d'animation -- (日本立ち寄り : 日本の文学、漫画、アニメーション映画) . Montreuil Centre de promotion du livre de jeunesse, Seine-Saint-Denis [2003] 当館請求記号 (YZ-028-B173)

セーヌ・サン・ドニ児童書振興センターは、児童書関連の行事、書誌作成、参考図書の出版などを通じて児童書を紹介しています。本書では表題のように、概観的紹介です。

31) Guide des mangas : les 100 series indispensables (漫画ガイド : 欠かせない100タイトル) / Julien Bastide et Anthony Prezman ; avec la collaboration de Nathalie Bougon et Matthieu Pinon. Paris c2006. 当館請求記号(YZ-726.1-B29)

日本の漫画を少女漫画、少年漫画、大人向け漫画、その他の4つのジャンル別に作品をあげて解説し、同じ作者のほかの作品、またこの作品が好きならこれもお勧めという作品を上げています。巻末に代表的な日本の漫画家12人をあげて経歴・作品などを解説しています。

32) Histoire du manga : l'ecole de la vie japonaise / Karyn Poupee. Paris Tallandier c2010.

当館請求記号(YZ-726.1-B41)

漫画はすでに各国に日本の文化大使というべき役割を果たしています。巨大な日本の漫画市場(アニメも含む)は、どのように形成され、日本文化の中でどのような役割をはたしてきたのかを豊富な例を挙げながら解説しています。

(フランス語に翻訳された日本のアニメ、漫画)

33) La Rose de Versailles (ベルサイユの薔薇) / Riyoko Ikeda. Bruxelles Dargaud c2002.

当館請求記号(Y16-B29)

(出版国 ベルギー) フランスというとやはりこれになるでしょうか。「ベルサイユの薔薇」のフランス語版。ベルギーの出版です。

34) Captain Tsubasa (キャプテン翼) / scenario et dessins, Yoichi Takahashi ; traduction de Atsuko Sasaki et Roger Marti. Paris Editions J'ai lu c1999-

当館請求記号(Y16-A120)

フランスでもサッカーは大人気です。

35) Dragon Ball : dictionnaire encyclopedique (ドラゴン・ボール : 百科事典) / [Akira Toriyama ; traduction, Olivier Huet]. Grenoble Glenat c1999.

当館請求記号(Y16-A132)

「ドラゴン・ボール」は登場人物が多いことでも知られています。日本のファン同様、外国のファンも百科事典を必要としているのです。「ドラゴン・ボール」は英語、フランス語、ポーランド語(Y16-B41)、デンマーク語(Y16-A142)、スウェーデン語(Y16-A139)など多くの言語に訳されています

36) Le grand livre de sailor moon (セーラーMoon豪華版) / Naoko Takeuchi ; [traduction, Anne Mallevay]. Grenoble c1999-

(Y16-A131)

フランス語版。日本語をそのまま載せ、最後に解説を入れています。

37) Le voyage de Chihiro (千と千尋の神隠し) / scenario original et realisation de Hayao Miyazaki ; traduction du japonais de Jun Vercoutter ; adaptation de Geraldine Karasinski. Toulouse Milan c2002.

当館請求記号(Y18-M685-B191)

「千と千尋の神隠し」のフランス語版。「魔女の宅急便」(当館請求記号Y18-M685-B190)もあります。

第二資料室いままでの展示

この展示のリストは、国際子ども図書館のホームページで見ることができます。
<http://www.kodomo.go.jp/resource/collection/index.html>

2011.5.21～ 6.21	詩と美術の国の児童書 イランの児童書	イランは児童書の出版大国です。詩と美術の伝統に支えられた同国の絵本はその美しさでも知られています。
2011.3.17～ 4.19	蛙くん、大活躍 ～蛙が主人公の民話・児童書～	世界のどこの国にもいる蛙。民話や児童書の世界でも大活躍しています。
2011.1.20～ 2011.3.15	もじゃぺ、再び	「もじゃぺ」というのはドイツのハインリッヒ・ホフマンの子ども向けの絵本「もじゃもじゃペーター」のことです。2006年に当館で「もじゃもじゃペーターとドイツの子どもの本」という展示会が開かれましたが、そのあとももじゃぺについての本は増え続けています。
2011.11.17 ～ 2011.1.18	見知らぬ国のアリス ～「不思議の国のアリス」の 挿絵画家たち～	おすまし風ドレスのアリスから、Tシャツのアリスまで、さまざまな挿絵の「不思議の国のアリス」を集めてみました。あなたの好きなアリスをさがしてみてください。
2010.10.21～ 11.16	なんだか怖い、でも見たい ～不気味系絵本～	絵本のなかには、見ているとなにか怖くなるような絵本があります。また、一見すると可愛い感じですが、しばらく眺めているとだんだん不安に襲われるような絵本もあります。これらを仮に「不気味系」絵本と名付けて、展示してみました。
2010.9.16 ～10.19	息をのむほど美しい絵本 ～現代ロシアの挿絵画家たち	ロシアの絵本1920年～1930年代の絵本は数多く紹介されていますが、現在の絵本はあまり紹介されていません。今の子どもたちに人気がある、思わず手にとりたくなるような美しい絵本を展示してみました。
2010.8.19 ～9.14	日本語に翻訳されていない、障害 のある人たちのための本、障害 のある人たちを描いた本	同時期に開催された「世界のバリアフリー絵本展」関連企画です。当館の外国の児童書のなかで、まだ日本語に訳されていない同テーマのものを展示しました。
2010.7.2 ～8.17	子どもが欲しい ～世界の物語・民話に見る『申し子』『授かり子』たち	「むかし、むかしおじいさんとおばあさんがいました」で始まるお話はしばしば「子どもが欲しいと思っていました」と続きます。おじいさんとおばあさんはどのような子を授かり、そのあとどのようなようになったのでしょうか、いろいろな国のお話を集めてみました。
2010.5.20 ～7.20	飾り枠のある絵本	絵本のなかには挿絵の周りに飾り枠のある絵本があります。その枠には、それぞれの国特有の飾りや模様が描かれていたりします。また、枠におはなしの様々なヒントが隠されている場合もあります。
2010.3.18 ～5.18	絵だけの絵本	絵本はもともと幼児など識字能力が十分でない人々のために視覚を使って本の内容を十分理解させるために作られたといわれています。その頃、絵は文字の補助的な役割でした。しかし、現在では絵本を絵本として楽しむ、絵だけの絵本もたくさんあり、なかには明らかに大人向けのものもあります。大人も子どもも楽しめる絵本を展示しました。
(以下、省略) *これ以前のものについては、ホームページをごらんください。		